

平成 28 年度の献血の受入に関する計画（案）の認可について

- ・ 諮問書 1
- ・ 平成 28 年度の献血の受入に関する計画（案） 3

【参考資料】

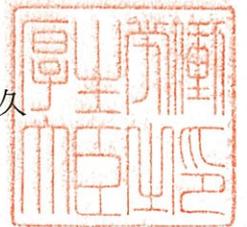
- ・ 平成 27 年度献血受入計画（平成 27 年 4 ～ 12 月）における
取組み状況と平成 28 年度献血受入計画の策定について
. 13



厚生労働省発薬生0219第51号
平成28年2月19日

薬事・食品衛生審議会会長
橋田 充 殿

厚生労働大臣 塩崎 恭 久



諮 問 書

平成28年度の献血の受入れに関する計画を認可することについて、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（昭和31年法律第160号）第11条第3項の規定に基づき、貴会の意見を求めます。



血 企 第 7 号
平成 28 年 2 月 18 日

厚生労働大臣 塩崎 恭久 様

日本赤十字社

理 事 田所 憲治



平成 28 年度献血受入計画について

標記については、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」（昭和 31 年法律第 160 号）第 11 条第 1 項の規定に基づき提出いたします。

平成 28 年度献血受入計画について（案）

平成 28 年度献血受入計画については、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」第 11 条及び同法律施行規則第 4 条に則り、各都道府県と協議し、当該年度に献血により受け入れる血液の目標量、その目標量を確保するために必要な措置に関する事項及びその他献血の受入れに関する重要事項について、以下のとおり計画します。

1 平成 28 年度に献血により受け入れる血液の目標量

平成 28 年度に献血により受け入れる血液の目標量については、各都道府県における過去 3 年の輸血用血液製剤の需要動向と原料血漿の必要量から安定供給を確保するために、全血献血で 138 万リットル、血漿成分献血で 31 万リットル、血小板成分献血で 32 万リットルの合計 201 万リットルを確保することとします。

なお、都道府県別目標量については、別紙 1 のとおりです。

日本赤十字社では、これらの目標量を確保するために、国、地方公共団体等との連携の下に献血受入れに取り組みます。

2 前項の目標量を確保するために必要な措置に関する事項

(1) 献血受入の基本方針

① 目標量の確保

平成 28 年度に献血により受け入れる血液の目標量を確保するための各都道府県献血受入施設の稼働数及び目標量については別紙 2 のとおりとし、医療機関の需要に応じた採血に努め、400 ミリリットル全血献血及び成分献血を積極的に受入れます。

② 献血受入体制の整備

献血者の利便性に配慮しつつ、安全で安心かつ効率的に採血を行うため、具体的には、立地条件等を考慮した採血所の設置、地域の実情に応じた移動採血車による計画的採血及び献血者が利用しやすい献血受入時間帯の設定等、献血受入体制の整備・充実を継続的に実施します。また、採血所における休憩スペースの十分な確保や地域の特性に合わせた献血者に安心・安らぎを与える環境作り等に努め、一層のイメージアップを図ります。

③ 献血者対応の充実

献血者が安心して献血できるように、献血の受入れに当たっては、丁寧な対応を心掛け、不快の念を与えることのないよう、職員の教育訓練の充実強化を図るとともに、献血者の意見・要望を把握し、献血受入体制の改善に努めます。

また、献血者の個人情報保護や献血者健康被害救済制度についても適正な運用に努めます。

④ 初回献血者等への対応

初めて献血をする方の献血に対する不安等を払拭することはもとより、献血の都度、献血の手順や献血後に十分な休息をとる必要性、気分が悪くなった場合の対処方法等について、映像やリーフレット等を活用した事前説明を充分に行い、献血者の安全確保に努めます。

また、学校献血会場において、採血後の献血者をケアする者を配置し、採血副作用の防止に努めます。

⑤ 検査サービス等の実施

献血者の健康管理に資するため、引き続き希望者に対し生化学検査成績、血球計数検査成績をお知らせします。

また、ヘモグロビン濃度の低値により献血にご協力いただけなかった献血申込者に対して栄養士等による健康相談を実施します。

(2) 献血者の確保対策

血液製剤について、国内自給が確保されることを基本としつつ、将来にわたって安定的に供給される体制を維持するため幼少期も含めた若年層、企業や団体、複数回献血者を普及啓発の対象として、各世代にあわせた効果的な活動や重点的な献血者募集を実施するとともに健康な高年齢層の献血受入れについても積極的に推進します。

また、献血の意義等について、国民が広く理解できるように情報を提供することが、献血意識を高めることに繋がることから、血液事業をより理解していただくための各年齢層の広報を継続的に展開し、病気やケガのために輸血を受けた患者さんや、そのご家族の感謝の声を伝える等により、血液製剤が患者さんの医療に欠くことのできない善意による貴重なものであることを含めた献血思想の普及啓発を図ります。

特に少子高齢化による若年層献血者の減少を踏まえ、若年層を対象とした取り組みとして体験学習の継続的な実施等、献血への動機付けとしての活動も積極的に推進します。

なお、各都道府県血液センターにおける主な取り組みは、別紙3のとおりです。

① 若年層を対象とした対策

ア 若年層全体に対する対策

若年層向けの雑誌、放送媒体、SNS等、インターネットを含む様々な広報手段を用いて、同世代からの働きかけ、病気やケガのために輸血を受けた患者さんやそのご家族の声を伝える等、効果的な広報に努めます。

イ 小学生、中学生を対象とした対策

献血の意義や血液製剤について分かりやすく説明するため、ボランティア組織の協力を得ながら、学校へ出向いての「献血セミナー」や血液センター等での体験学習を積極的に行い、正しい知識の普及啓発と協力の確保を図ります。

ウ 高校生を対象とした対策

「高等学校学習指導要領解説 保健体育編」に献血に関する内容が盛り込まれたこと、文部科学省から各都道府県教育委員会あてに献血に触れ合う機会の受入れについての協力に関する通知が発出されたことから、献血のみならず、赤十字活動全体を含めた命の大切さ等を盛り込んだ統一資材等を用いて、学校へ出向いての「献血セミナー」を積極的に実施するよう努めます。

エ 大学生を対象とした対策

献血推進運動を行っている学生献血推進ボランティア組織等と更なる連携を図り、大学生における献血や血液製剤に関する理解、献血体験の促進に努めます。

特に将来の医療の担い手となる医療・薬学系の学生等に対して、多くの国民の献血によって医療が支えられている事実や血液製剤の適正使用の重要性への理解を深めてもらうための取り組みを行います。

オ 10歳代への啓発として、採血基準の改正により、平成23年4月から男性に限り、400ミリリットル全血献血が17歳から可能となったことを伝え、普及啓発に努めます。

② 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

ア 子育て中の20歳代後半から30歳代を対象とした対策

この年代については、出産、あるいは子育てに忙しいという理由により献血をする機会が減少しているものと考えられることから、その方々に安心して献血していただけるための取り組みとして、地域の特性に応じて献血ルームに託児スペースを整備する等の受入体制を整え、親子が献血に触れ合う機会や利用しやすい環境を設けるよう努めます。

イ 40歳代、50歳代を対象とした対策

企業や団体の中心的な存在であるこの年代に対して、「血液の使われ方」及び「献血可能年齢」等について正確な情報を伝え、相互扶助の観点からの啓発

を行い、社会貢献活動の一つとして、地域の実情に即した方法で企業・団体等における献血の推進を図ります。

ウ 60歳以上を対象とした対策

この年代は、60歳を超えたところで献血者数の割合が急激に減少しており、その理由として定年退職することにより献血に関する情報に触れる機会が減少することや健康上の問題等が一要因として考えられることから、定年退職後も引き続き積極的に献血に協力していただけるよう、情報伝達の方法を工夫するなどして献血者の増加に努めます。

献血が出来なくなった70歳以上の方についても、個人ボランティアとして献血の推進に支援いただけるよう努めます。

また、血小板成分献血について、採血基準の改正により、平成23年4月から男性に限り、69歳まで可能となったことを伝え普及啓発に努めます。

③ 企業等における献血の推進対策

献血に協賛する企業や団体を募り、社会貢献活動の一つとして、企業等における献血の推進を促します。

また、企業等に対して、社員研修や社内広報等の機会を利用して「献血セミナー」や献血に関する情報提供等を実施し、正しい知識の普及啓発を図るとともに、特に20歳代、30歳代の労働者の献血促進について協力を求めるよう努めます。

④ 複数回献血協力者の確保

複数回献血協力者を確保するため、複数回献血クラブの充実等、重点的な啓発、施策を行うよう努めます。

また、複数回献血者に血液の需要に応じて協力していただくことは、今後の安定的・効率的な献血を実施していくうえで不可欠であり、複数回献血クラブへの加入促進、インセンティブとなる同クラブ会員を対象としたイベントの開催等を積極的に実施します。

併せて、複数回献血クラブ会員の献血履歴を適切に管理し、必要な時に必要な献血を的確に依頼できるよう管理システムの改修に取り組みます。

⑤ 献血推進キャンペーン等の実施

将来の献血基盤となる10歳代、20歳代の若年層献血の推進は、血液事業にとって最も重要な課題であり、また、国民各世代への献血の普及啓発を図るため、通年で実施しているLOVE in Actionプロジェクトを基軸とし、複数回献血者確保キャンペーン（4～5月）、愛の血液助け合い運動（7月）、いのちと献血俳句コンテスト（7月～12月）、全国学生クリスマスキャンペーン（12月）及びはたちの献血キャンペーン（1～2月）等を連動させながら戦略的な広報を展開しま

す。

3 その他献血の受入れに関する重要事項

(1) 血液製剤の安全性向上のための対策

国及び都道府県と連携し健康な献血者の確保に努めます。

今後も献血者本人確認を徹底するとともに、H I V等の感染症の検査を目的とした献血の防止のための「安全で責任のある献血」の普及に努めます。さらに、問診業務の充実強化に努め、安全な献血の受入れを図ります。

(2) まれな血液型の血液確保

まれな血液型の献血者には、医療機関からの突発的な要請に対応できるよう、本人の意向を踏まえて予め登録を依頼し、必要時に献血を依頼します。

(3) 200 ミリリットル全血献血のあり方について

血液製剤の安全性、製造効率、医療機関の需要の観点から、献血を推進するうえで400 ミリリットル全血献血を基本とするものの、将来の献血推進の基盤となる若年層に対する献血推進が非常に重要であることから、国、都道府県及び学校と連携し「献血セミナー」を実施する等、献血を周知啓発する取り組みを積極的に行うとともに、特に高校生等の献血時には、400 ミリリットル全血献血に献血者が不安がある場合は200 ミリリットル全血献血を推進するなど、出来る限り献血を経験していただくよう努めます。

(4) 血液製剤の在庫管理と不足時の対応

赤血球製剤等の在庫予測に基づき、献血者確保対策を講じて安定供給に努めるとともに、国及び都道府県にも在庫情報を提供し、万一の在庫不足時には対応手順に基づき、関係機関と連携した献血者確保対策を実施します。

(5) 災害時等における危機管理

① 平成23年3月の東日本大震災における全国からの血液製剤の支援実績や教訓を踏まえ、今後も災害時において、献血血液の確保に支障を来さないよう、広域的な需給管理体制のもと、国、都道府県及び市町村と協力して継続的に全国的な献血の推進を図り、円滑な血液供給に努めます。

② 東日本大震災の際には、停電や一般電話回線（携帯回線含む。）の輻輳により、通信手段の確保が困難となったほか、精油所等の被災や燃料の流通に支障が生じたため、移動採血車等の燃料の確保も困難となったことから、国、都道府県、市

町村及び企業等と協力して、複数の通信手段の確保及び燃料の確保により、災害時に備えます。

③ 広域的な大規模災害の発生に備え、災害時等における献血血液の製剤化に支障を来さないよう、国と協議して必要な設備等の整備を進めます。

(6) 献血受入計画の分析と評価

献血の受入状況について、国、都道府県及び市町村へ情報を提供します。また、その分析と評価を行い、次年度の献血受入計画の各種施策の検討に資することとします。

平成28年度に献血により受け入れる血液の目標量(日本赤十字社)

(単位:L)

No	都道府県名	全 血 献 血			成 分 献 血			合 計
		200mL	400mL	計	血 小 板	血 漿	計	
1	北海道	2,580	81,160	83,740	16,288	3,936	20,224	103,964
2	青森	380	13,920	14,300	3,800	1,861	5,661	19,961
3	岩手	380	12,760	13,140	4,041	1,728	5,769	18,909
4	宮城	340	22,920	23,260	4,439	8,104	12,543	35,803
5	秋田	320	11,200	11,520	4,000	709	4,709	16,229
6	山形	260	10,920	11,180	2,480	2,392	4,872	16,052
7	福島	600	21,800	22,400	4,520	3,234	7,754	30,154
8	茨城	1,133	26,186	27,319	5,903	8,789	14,692	42,011
9	栃木	853	19,690	20,543	4,394	7,716	12,110	32,653
10	群馬	939	21,699	22,638	5,833	5,683	11,516	34,154
11	埼玉	2,644	61,059	63,703	12,739	18,169	30,908	94,611
12	千葉	2,575	59,476	62,051	12,455	18,271	30,726	92,777
13	東京	4,720	148,508	153,228	43,501	35,936	79,437	232,665
14	神奈川	2,147	81,934	84,081	17,552	21,268	38,820	122,901
15	新潟	930	21,476	22,406	6,020	10,139	16,159	38,565
16	富山	320	10,120	10,440	3,160	1,683	4,843	15,283
17	石川	296	11,200	11,496	3,840	2,709	6,549	18,045
18	福井	320	9,140	9,460	2,516	485	3,001	12,461
19	山梨	359	8,282	8,641	0	5,944	5,944	14,585
20	長野	794	18,330	19,124	4,673	7,525	12,198	31,322
21	岐阜	620	19,400	20,020	4,080	4,996	9,076	29,096
22	静岡	1,133	34,658	35,791	8,311	9,969	18,280	54,071
23	愛知	1,706	69,286	70,992	16,075	25,512	41,587	112,579
24	三重	26	13,148	13,174	3,588	7,539	11,127	24,301
25	滋賀	394	13,732	14,126	2,688	2,128	4,816	18,942
26	京都	266	31,260	31,526	6,467	7,242	13,709	45,235
27	大阪	2,290	106,440	108,730	26,137	22,975	49,112	157,842
28	兵庫	1,424	59,116	60,540	13,424	12,620	26,044	86,584
29	奈良	282	14,128	14,410	3,672	2,729	6,401	20,811
30	和歌山	318	12,544	12,862	2,412	1,910	4,322	17,184
31	鳥取	33	6,464	6,497	1,696	480	2,176	8,673
32	島根	13	6,315	6,328	2,097	749	2,846	9,174
33	岡山	509	22,616	23,125	6,195	3,432	9,627	32,752
34	広島	399	30,590	30,989	13,014	6,043	19,057	50,046
35	山口	179	17,330	17,509	2,860	2,063	4,923	22,432
36	徳島	10	8,214	8,224	2,055	1,104	3,159	11,383
37	香川	20	11,058	11,078	2,016	2,222	4,238	15,316
38	愛媛	15	15,324	15,339	2,617	1,993	4,610	19,949
39	高知	249	9,332	9,581	2,265	1,015	3,280	12,861
40	福岡	3	60,771	60,774	11,209	11,798	23,007	83,781
41	佐賀	34	8,000	8,034	2,144	3,143	5,287	13,321
42	長崎	136	16,848	16,984	3,752	3,276	7,028	24,012
43	熊本	240	22,469	22,709	4,021	4,006	8,027	30,736
44	大分	132	14,338	14,470	2,644	1,794	4,438	18,908
45	宮崎	112	13,440	13,552	3,136	674	3,810	17,362
46	鹿児島	220	20,080	20,300	3,894	573	4,467	24,767
47	沖縄	196	16,862	17,058	3,363	3,333	6,696	23,754
	合計	33,849	1,345,543	1,379,392	317,986	311,599	629,585	2,008,977

※山梨県の血小板成分献血目標量が「0」となっているのは、山梨県では血小板採血を行っていないため。

平成28年度に献血により受入れる血液の目標量を確保するための各採血所毎の目標量及び稼働数

	血液センター						献血ルーム(事業所・出張所)						移動採血車						オープン献血						目標量合計 (単位:L)	総稼働数
	全血献血			小計 (単位:L)			全血献血			小計 (単位:L)			全血献血			小計 (単位:L)			全血献血			小計 (単位:L)				
	血小板	血漿	血漿	血小板	血漿	血漿	血小板	血漿	血漿	血小板	血漿	血漿	血小板	血漿	血漿	血小板	血漿	血漿	血小板	血漿	血漿	血小板	血漿	血漿		
北海道	680	4,308	1,344	6,332	312	26,880	11,980	2,592	41,452	2,411	56,180	0	0	0	2,921	0	0	0	0	0	0	0	0	0	103,964	5,644
青森	0	0	0	0	0	4,892	3,800	1,861	10,553	982	9,408	0	0	0	560	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,961	1,542
岩手	0	0	0	0	0	2,208	4,040	1,728	7,976	364	10,917	0	0	0	691	16	0	0	0	0	0	0	0	0	18,909	1,056
宮城	0	0	0	0	0	7,920	4,439	8,104	20,463	726	15,138	0	0	0	902	202	0	0	0	0	0	0	0	0	35,803	1,638
秋田	640	1,599	177	2,416	311	3,520	2,401	532	6,453	624	7,360	0	0	0	457	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,229	1,392
山形	0	0	0	0	0	1,917	2,480	2,392	6,789	363	9,263	0	0	0	561	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,052	924
福島	1,180	1,401	1,002	3,583	314	2,628	3,119	2,232	7,979	677	18,592	0	0	0	1,193	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,154	2,184
茨城	0	0	0	0	0	4,393	5,903	8,789	19,085	1,087	22,926	0	0	0	1,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42,011	2,537
栃木	1,514	2,275	3,780	7,569	363	1,951	2,119	3,936	8,006	363	16,246	0	0	0	1,013	832	0	0	0	0	0	0	0	0	32,653	1,791
群馬	0	0	0	0	0	7,610	5,833	5,683	19,126	1,089	14,850	0	0	0	960	178	0	0	0	0	0	0	0	0	34,154	2,057
埼玉	0	0	0	0	0	35,037	12,739	18,169	65,945	2,384	28,666	0	0	0	1,736	0	0	0	0	0	0	0	0	0	94,611	4,120
千葉	0	0	0	0	0	29,983	12,455	18,271	60,709	2,040	29,144	0	0	0	1,845	2,924	0	0	0	0	0	0	0	0	92,777	4,042
東京	0	0	0	0	0	84,489	43,501	35,936	163,926	4,826	44,565	0	0	0	2,477	24,174	0	0	0	0	0	0	0	0	232,665	8,647
神奈川	0	0	0	0	0	40,200	17,552	21,268	79,020	2,839	42,446	0	0	0	2,366	1,435	0	0	0	0	0	0	0	0	122,901	5,285
新潟	0	0	0	0	0	11,035	6,020	10,139	27,194	727	11,371	0	0	0	706	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38,565	1,433
富山	0	0	0	0	0	1,120	3,160	1,683	5,963	362	9,320	0	0	0	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,283	862
石川	1,464	1,680	1,384	4,528	297	1,320	2,160	1,325	4,805	317	8,712	0	0	0	410	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,045	1,024
福井	1,660	2,516	485	4,661	310	0	0	0	0	0	7,600	0	0	0	366	200	0	0	0	0	0	0	0	0	12,461	680
山梨	0	0	0	0	0	1,836	0	5,944	7,780	363	6,805	0	0	0	396	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,585	759
長野	0	0	0	0	0	4,667	4,673	7,525	16,865	880	14,402	0	0	0	804	55	0	0	0	0	0	0	0	0	31,322	1,687
岐阜	2,442	2,240	2,562	7,244	312	3,138	1,840	2,434	7,412	623	14,440	0	0	0	870	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29,096	1,805
静岡	0	0	0	0	0	7,286	8,311	9,969	25,566	1,237	28,505	0	0	0	1,639	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54,071	2,876
愛知	784	626	841	2,251	246	28,917	15,449	24,671	69,037	2,688	41,291	0	0	0	2,175	0	0	0	0	0	0	0	0	0	112,579	5,109
三重	692	1,176	1,780	3,648	310	1,534	2,412	5,759	9,705	620	10,948	0	0	0	630	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24,301	1,560
滋賀	0	0	0	0	103	2,578	2,688	2,128	7,394	364	11,502	0	0	0	592	46	0	0	0	0	0	0	0	0	18,942	1,061
京都	0	0	0	0	0	12,711	6,467	7,242	26,420	1,087	18,371	0	0	0	957	444	0	0	0	0	0	0	0	0	45,235	2,070
大阪	2,252	1,893	1,118	5,263	294	49,534	24,244	21,857	95,635	3,362	52,591	0	0	0	2,859	4,353	0	0	0	0	0	0	0	0	157,842	6,753
兵庫	0	0	0	0	0	27,153	13,424	12,620	53,197	2,420	33,343	0	0	0	1,720	44	0	0	0	0	0	0	0	0	86,584	4,150
奈良	893	1,395	956	3,244	204	2,243	2,277	1,773	6,293	361	11,274	0	0	0	636	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,811	1,201
和歌山	0	0	0	0	0	946	2,412	1,910	5,268	310	11,916	0	0	0	686	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,184	996
鳥取	472	840	240	1,552	213	1,608	856	240	2,704	199	4,417	0	0	0	245	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,673	657
島根	526	2,097	749	3,372	309	0	0	0	0	0	5,802	0	0	0	296	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,174	605
岡山	2,170	2,664	1,373	6,207	293	3,853	3,531	2,059	9,443	362	16,786	0	0	0	757	316	0	0	0	0	0	0	0	0	32,752	1,420
広島	0	0	0	0	0	7,304	13,014	6,043	26,361	981	23,421	0	0	0	1,024	264	0	0	0	0	0	0	0	0	50,046	2,018
山口	884	1,503	963	3,350	309	1,810	1,357	1,100	4,267	361	14,731	0	0	0	730	84	0	0	0	0	0	0	0	0	22,432	1,403
徳島	0	0	0	0	0	2,410	2,055	1,104	5,569	353	5,814	0	0	0	320	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,383	673
香川	0	0	0	0	0	3,775	2,016	2,222	8,013	363	7,303	0	0	0	332	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,316	695
愛媛	0	0	0	0	0	4,587	2,617	1,993	9,197	363	10,568	0	0	0	472	184	0	0	0	0	0	0	0	0	19,949	840
高知	0	0	0	0	0	1,981	2,265	1,015	5,261	362	7,600	0	0	0	470	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,861	832
福岡	0	0	0	0	0	18,813	11,209	11,798	41,820	1,791	39,721	0	0	0	1,719	2,240	0	0	0	0	0	0	0	0	83,781	3,590
佐賀	2,130	2,144	3,143	7,417	361	0	0	0	0	0	5,904	0	0	0	278	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,321	639
長崎	0	0	0	0	0	3,435	3,752	3,276	10,463	621	13,549	0	0	0	740	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24,012	1,361
熊本	2,659	2,252	2,083	6,994	297	4,398	1,769	1,923	8,090	313	15,652	0	0	0	782	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,736	1,392
大分	0	0	0	0	0	4,412	2,644	1,794	8,850	364	10,058	0	0	0	528	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,908	892
宮崎	0	0	0	0	0	1,932	3,136	674	5,742	364	11,620	0	0	0	630	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,362	994
鹿児島	1,604	1,907	265	3,776	294	2,984	1,987	308	5,279	363	15,712	0	0	0	810	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24,767	1,467
沖縄	0	0	0	0	0	2,977	3,363	3,333	9,673	363	14,081	0	0	0	720	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23,754	1,083
合計	24,646	34,516	24,245	83,407	5,452	475,925	283,469	287,354	1,046,748	44,019	840,831	0	0	0	840,831	37,991	0	0	0	0	0	0	0	0	2,008,977	97,446

注1. オープン献血とは、事業所や学校の会議室等を会場として行う献血受入れ方式。
 注2. 稼働数とは、血液センター・献血ルームでは開設日数を、移動採血車では配車台数を、オープン献血では献血会場数をいう。

平成28年度献血受入施設数等

別紙2-2

	常設 献血受入 施設 (箇所)	移動 採血車 (台)			成分 採血装置 (台)		
		H28年度中 増減数	H28年度中 増減数	H28年度中 更新数	H28年度中 増減数	H28年度中 更新数	
北海道	9		17	2	70		10
青森	3		4		18		
岩手	1		4		13		
宮城	2		6	1	28		
秋田	3		4		19		
山形	1		4		13		1
福島	4		8		41	△ 2	
茨城	3		7		32		2
栃木	2		6		26		
群馬	3		4		30		
埼玉	7		10	1	74		
千葉	6		10		76		
東京	15	△ 1	19	1	193		10
神奈川	8		12		111		1
新潟	2		4		30		
山梨	1		4		9		
長野	3		4	1	36		
富山	1		3		9		
石川	2		4		20		
福井	1		3	1	11	△ 1	
岐阜	3		4		29		
静岡	4		9		48		
愛知	9		11		118		5
三重	3		4	1	27		
滋賀	2		4		15		
京都	3		6		35		1
大阪	12		16	1	116		5
兵庫	7		9		71		
奈良	2		4	1	22		2
和歌山	1		5	1	11		
鳥取	2		2		15		2
島根	1		3	1	10		
岡山	2		5		28		3
広島	3		5		47		
山口	2		5		18		
徳島	1		3		9		
香川	1		4	△ 1	13		
愛媛	1		4		19		
高知	1		3		12		
福岡	5		11	1	65	1	4
佐賀	1		2		11		
長崎	2		5		18		
熊本	2		5		25		4
大分	1		4		15		
宮崎	1		4		14		2
鹿児島	2		5		22	1	3
沖縄	1		4		17		
合計	152	△ 1	283	△ 1	1,709	△ 1	55

注1)「常設献血受入施設」とは、血液センター・事業所・献血ルーム(出張所)のことを指す。
 注2)施設数、移動採血車台数、成分採血装置台数は、平成28年4月1日時点の予定数である。

各都道府県血液センターにおける主な取組（平成28年度）

①若年層を対象とした対策

No.	具体的対策	対象
1	小学校高学年を対象に血液センターの施設見学や移動献血車の体験試乗など「献血おもしろセミナー」を実施して、献血に関する興味・関心を持ってもらう。	小学校高学年
2	若年層に高聴取率を誇るラジオ番組とタイアップし、パーソナリティがリポーターへ献血に対する呼びかけ等を行う。	16～19歳
3	県内の大学での学内献血実施時のキャンペーンにあわせ、献血協力者に対して友達へのメール配信を依頼し、献血の協力を呼びかける。	10～20歳代学生
4	小・中・高校生はもとより、大学及び医療系の専門学校に献血セミナーを実施する。	学生
5	企画の段階から学生が主体となる参加型のイベントを開催する。	学生
6	卒業という記念日を献血の契機と位置付けた献血セミナー等を実施して、400mL献血主体とした献血推進を行う。	卒業生
7	プロスポーツ団体とのコラボキャンペーンにより、試合会場やファン感謝デーでの献血実施やコラボグッズを製作し、若年層を主に対象とした献血者確保を図る。	10～20歳代
8	地元ラジオ局とのタイアップにより、若年層の参加者が多いイベントであるヴォーカルオーディション参加者へ献血の推進を行う。	10～20歳代
9	若年層に人気のある謎解きイベントを開催し、若年層へ献血の知識と協力を図る。	10～30歳代

②企業等における献血推進対策

No.	具体的対策	対象
1	社会貢献活動をしている企業をHP等により把握し、当該企業への献血協力依頼を行う。また、グループ企業で献血をしていない企業を紹介してもらうなど、効果的な働きかけを行う。また、3年以上献血協力が続いている企業に再度献血への協力を依頼する。	献血未実施の企業や献血協力企業等
2	CSR活動の推進企業にSNSを活用し、献血協力の案内を配信する。	献血未実施の企業や献血協力企業等
3	各企業の新人職員研修会、建築現場の職員に対する研修会である安全大会等に出向き、献血推進セミナーを実施する。	当該事業所職員
4	管内の保健所主催による企業の献血担当者に対して研修会を実施する。	企業・団体
5	献血車の配車が難しい事業所に対して、献血ルームでの献血協力依頼を行う。	当該事業所
6	ブロック血液センター施設見学を勧誘し、今後の企業献血の中心となる社員に献血の理解を深めてもらう。	献血未実施事業所

③複数回献血者の確保対策

No.	具体的対策	対象
1	1年以上献血に協力いただいた方に依頼要請をかけ、複数回献血者への誘導を図る。	休眠献血者
2	大学内で実施する献血会場において専門の職員を配備し、複数回献血クラブ新規会員を確保する。	10～20歳代学生
3	複数回献血クラブ会員に対して、健康管理意識向上のための講演会や「ヨガ教室」を開催する等、会員の複数回献血の促進及び新たな会員の確保を図る。	全献血者
4	献血ルーム等の献血者に対して、誕生日に献血依頼ハガキを郵送し複数回献血を推進する。	献血ルーム献血協力者
5	固定施設（献血ルーム等）の献血者について自筆でハガキの宛名を書いてもらい秋・冬季にそのハガキを発送し、献血協力を依頼する。	固定施設献血者

④その他の具体的対策

No.	具体的対策	対象
1	既に献血に協力いただいている団体に対し、献血紹介カードを作成し、未実施団体の献血協力を推進する。	献血協力団体
2	献血推進支援団体（ライオンズクラブ等）に対して、研修会を実施し、献血者確保のための活動を推進する。	献血推進支援団体

平成28年 2月18日

平成27年度献血受入計画（平成27年 4～12月）における取り組み状況と
平成28年度献血受入計画の策定について

日本赤十字社 血液事業本部

- 1 平成27年 4～12月における各都道府県別の血液確保量、確保目標量に対する達成率及び比較

別紙 1 のとおり。

- 2 血液確保目標量と確保量及び供給量との比較に基づく分析

各血液センターにおける献血受入計画（平成27年 4～12月：平成27年度の受入計画数に3/4を乗じたもの）の目標量149.6万Lに対する確保量は144.9万Lで、達成率は96.9%となっており、確保量が目標量を下回っています。

一方、全体の血液確保量144.9万Lに対し、原料血漿及び輸血用血液製剤の合計使用量は139.3万L（確保量に対する使用率96.1%）です。確保量のうち5.6万L（使用量の3.9%）が未使用量としての計上となっておりますが、この中には検査不合格と期限切れが含まれています。

これは、献血受入計画を基本としながらも、医療機関からの受注状況と血液の在庫状況を勘案して、期限切れ等に注視しながら安定供給を確保するため、各血液センターが状況に応じた採血を行った結果であり、平成27年度も引き続き安定供給が確保されています。

なお、今後も安定供給を確保するため、より精度の高い需給管理と需給調整による有効活用を図ってまいります。

- 3 血液製剤の安定供給等にかかる取り組み

日本赤十字社の血液事業については、更なる安全な血液製剤の安定供給を確保することとして、平成24年度からブロック（全国7ブロック）を単位とする広域的な需給管理体制を構築しました。

本体制下において、輸血用血液製剤の在庫の過不足の早期把握、安定的な供給を図るための必要な措置の検討と実施及び需給計画の検証を行うため、血液事業本部及び血液センターにおいては次の取り組みを行っています。

(1) 血液事業本部の取り組み

血液事業本部においては、輸血用血液製剤の安定供給の確保等について審議する「安定供給委員会」を設置しています。また、より高精度な需要予測を行うことを目的として、「需給予測委員会」を設置し、医学的及び臨床的な観点から需要について検証しています。

なお、輸血用血液製剤の安定供給を確保するため、「安定供給委員会」の下に「安定供給促進小委員会」（原則隔週金曜日開催）を設置し、全国の輸血用血液製剤の需給状況及び原料血漿の確保状況を把握し、安定供給を実現・維持するための対応策の検討を行い、各血液センターへの指示・監視・指導を実施しています。

(2) 各血液センターの取り組み

各血液センターにおいては、「需給計画委員会」（原則毎月開催）及びその下に「需給計画委員会作業部会」（原則毎週開催）を設置し、採血・製造・供給の予測に基づく在庫シミュレーションによる赤血球製剤・血漿製剤・血小板製剤の需給計画の検証を行い、基本となる献血受入計画に調整を加え、翌月・翌々月の需給計画を策定しています。

特に、ブロック血液センターにおいては、ブロック内の需給状況の把握、需要予測及び需給計画等を検証し、ブロック内地域血液センターに対して指導・調整を行い、安定供給の促進を図っています。

(3) 在庫量の情報管理と危機管理対応

- ① 血液事業本部は、休日を除く毎日午前6時現在の全国各血液センターの赤血球製剤の在庫を把握（別紙2）し、注意報水準・警報水準に陥らないよう常に全国の需給状況を確認するとともに、赤血球製剤の在庫状況を厚生労働省へ報告しています。

また、各血液センターからは各都道府県及び日本赤十字社各都道府県支部へ同様に情報提供しています。

- ② 注意報水準あるいは警報水準に陥った都道府県については、「危機管理水準の情報報告書」により危機管理水準の現況、それに至るまでに講じた方策等をブロック血液センターを通じて血液事業本部へ提出させ、それを受けて血液事業本部は「危機管理水準の対応指示書」により具体的な対策等を指示しています。

なお、平成27年度については、注意報水準を下回った事例が1件発生しましたが、夜間の大量供給による一時的なものであり、ブロック全体では十分な在庫量を保有していたことから即日に回復し、安定供給に支障は出ておりません。

③ 需要予測によって血液不足が見込まれる血液センターについては、今後の採血計画の見直しや増班体制などの具体的な対策を講じるよう指示しています。

④ 平成17年4月に本社及び各血液センターに献血推進本部を設置し、万一、安定供給の確保が懸念される場合には、国及び都道府県と連携して迅速に効果的な対応がとることが出来る体制を整備しています。

(4) 冬季・春季献血者確保対策

平成27年6月・12月にブロック血液センター需給管理課長会議を開催し、献血への協力が得られにくくなる冬季及び春季の在庫予測シミュレーション等に基づき、進捗状況確認及び対策の検討を行いました。

また、より安定的な在庫の確保に向けて、隔週金曜日に開催している「安定供給促進小委員会」にて適宜詳細な検証を行っています。

(5) 危機管理にかかる取り組み

大規模地震等の災害に備え、血液事業本部で血液事業危機管理ガイドラインを作成し、各血液センターにおいては、本ガイドラインに基づいて、危機管理対応マニュアルを整備しております。

また、必要に応じて、災害を想定した血液輸送訓練も実施しています。

4 平成27年度献血受入計画の進捗状況

平成27年度献血受入計画として、核となる対策と取り組みを血液事業本部から各血液センターへ指示し、各血液センターでは都道府県との連携のもとに受入計画を策定・実施しています。なお、その対策と各血液センターにおける主な取り組みの実施状況は次のとおりです。

(1) 若年層を対象とした対策

以下に示す取り組みを実施したほか、若年層向けの雑誌、放送媒体、インターネット等を含む様々な広報手段を用いて、同世代からの働きかけ、病気やケガのために輸血を受けた患者さんやそのご家族の声を伝える等、効果的な広報を実施しました。

① 小学生、中学生を対象とした対策

献血の意義や血液製剤について分かりやすく説明するため、ボランティア組織の協力を得ながら、学校へ出向いての勉強会や血液センター等での体験学習を積極的に行い、正しい知識の普及啓発と協力の確保を図りました。

② 高校生を対象とした対策

「高等学校学習指導要領解説 保健体育編」に献血に関する内容が盛り込まれたこと、文部科学省から各都道府県教育委員会あてに献血に触れ合う機会の受入れについての協力に関する通知が発出されたことから、献血のみならず、赤十字活動全体を含めた命の大切さ等を盛り込んだ統一資材等を用いて献血セミナーを積極的に実施しました。

③ 大学生を対象とした対策

献血推進活動を行っている献血ボランティア組織等の協力を得て連携を図り、大学生に対して献血や血液製剤に関する理解を深め、実際に献血を体験してもらう取り組みを行いました。

また、学生献血ボランティアとの更なる連携を図るとともに、その組織基盤の強化にあたりました。

さらに、将来の医療の担い手となる医療系・薬学系の学生等に対して、多くの国民の献血によって医療が支えられている事実や血液製剤の適正使用の重要性への理解を深めてもらうための取り組みを行いました。

④ 400m L全血採血の普及啓発活動

10歳代に対して、採血基準の改正により、男性に限り400m L全血採血が17歳から可能となったことについて普及啓発活動を実施しました。

⑤ 若年層年代別の分析と対策

各ブロックごとに定められた年代別の目標と対策について、分析・評価のためのヒアリングを行い、次年度の推進対策の強化を図りました。

(2) 献血者の年齢層に応じた献血推進対策

① 20歳代後半～30歳代を対象とした対策

この年代については、出産、あるいは子育てに忙しいという理由により献血者が減少しているものと考えられることから、親子で献血に触れ合える機会を設けるため、地域の特性に応じて献血ルームに託児スペースを整備する等の受入体制の充実を図りました。

② 40歳～50歳代を対象とした対策

企業や団体の中心的な存在であるこの年代に対して、「血液の使われ方」、「献血可能年齢」等について正確な情報を伝え、相互扶助の観点からの啓発を行い、社会貢献活動の一つとして、地域の実情に即した方法で企業・団体等における献血者の増加に努めました。

③ 60歳以上を対象とした対策

この年代は、60歳を超えたところでの献血者数の割合が急激に減少しており、その理由として定年退職することにより献血に関する情報に触れる機会が減

ってしまうことや健康上の問題等が要因として考えられることから、定年退職後も引き続き積極的に献血に協力していただけるよう、情報伝達の方法を工夫するなどして献血者の増加に努めました。

献血が出来なくなった70歳以上の方についても、個人ボランティアとして献血の推進に支援いただけるよう努めました。

(3) 企業・団体における献血の推進対策

献血に協賛する企業や団体を募り、社会貢献活動の一環として、企業等における献血の推進を図りました。

- ・新規協力企業及び団体の開拓
- ・献血ルームや移動献血会場への協力企業の開拓
- ・ロゴマークの活用（ロゴマーク取得促進のための専用ウェブサイトの運営、ステッカー配布など）

(4) 複数回献血者確保対策

複数回献血協力者を確保するため、複数回献血クラブの充実等、重点的な啓発、施策を行いました。

また、複数回献血クラブへの加入促進、インセンティブとなる同会員を対象としたイベントの開催等を積極的に実施しました。

[平成27年度上半期実績]

複数回献血クラブ会員登録数93,088人（述べ会員数 876,754人）

[献血実人数に占める複数回献血者の割合]

平成26年4月1日～平成27年3月31日実績 33.6%

(5) 目標量を確保するための全般的な対策

① 広報活動への取り組み

以下の取り組みを全国で展開しました。この他、病気やケガのために輸血を受けた患者さんやそのご家族の声を伝えるための映像を製作したことから、各血液センターにおいて、講演会や施設見学时、学校等での上映会を実施し、効果的な広報を実施しました。

- ・通年「LOVE in Action プロジェクト」
- ・7月「愛の血液助け合い運動」
- ・6～12月「第10回赤十字・いのちと献血俳句コンテスト」
- ・12月「全国学生クリスマス献血キャンペーン」
- ・1～2月「はたちの献血」キャンペーン

② 血液センターにおける献血者確保への取り組み

- ・複数回献血協力者を確保するため、複数回献血クラブ会員へ情報誌の発行や、AED講習会等を実施する他、電子メールを活用した献血依頼を実施。また、リーフレットを作成する等して、新規クラブ会員の確保を実施
- ・需要に応じた400mL献血を推進
- ・需給予測に基づき、固定施設における受付時間の延長や移動献血バスの増車による献血受入等の措置を実施
- ・新規献血協力企業・団体の開拓を行うとともに、既存協力団体の献血実施回数増加を依頼
- ・学生献血推進ボランティアと連携して、若年層献血者確保対策として大学等における献血を実施
- ・地域の特性に応じて託児スペースを整備し、親子が献血に触れ合う機会を設け、献血者確保を実施

5 平成28年度献血受入計画の策定

(1) 当該年度に献血により受け入れる血液の目標量

各血液センターにおける平成26年度供給数の実績と平成27年度上半期の供給数を中心に、過去3年の供給動向（別紙3）等から傾向を分析し、当該年度の供給数を見込み、都道府県との協議のうえ、献血の目標量を算定しました。

(2) 前号の目標量を確保するために必要な措置に関する事項

① 献血受入体制の策定

各血液センターにおいては、献血の目標量を確保するため、献血種別にも配慮しながら、過去の献血実績に基づき、施設別（献血ルーム、献血バス、出張採血）の月別、週別、日別の献血受入体制を策定しています。

これらをもって、都道府県と献血受入計画等を協議し、基礎となる年間の献血バスの配車計画等を定めています。

② 献血者の確保対策

血液事業本部では、献血者の確保に関する基本的対策について、国の基本方針及び献血推進計画に呼応した献血者確保対策を基本とし、各血液センターへ指示しています。

血液センターでは、血液事業本部の指示による献血者確保対策を基本としながらも、それぞれの地域事情を反映した「都道府県献血推進計画」と連携した献血者確保の取り組みを計画しています。

一年を通して安定供給を維持するためには、地道な日々の取り組みの積み重ねによる献血者の確保によるところが大きいと言えます。また、不足が予測される

場合には早めの対応が重要です。各血液センターで実施されている各種取り組みは、これまで過去に行ってきた取り組みの中でも効果的なものが継続的に実施されています。

平成 27 年度の赤血球製剤の在庫推移は、別紙 4 のとおりです。

平成 28 年度の各血液センターにおける献血者の確保対策については、血液事業本部が示した基本となる確保対策項目に、各血液センター自らが数値目標を設定し、具体的取り組みの進捗状況を評価することとしています。

なお、血液事業本部においては、各地の情報を収集し、全国会議等において各地の取り組み事例を紹介する機会を設け、献血者確保のための情報共有を図っています。

(3) その他献血の受入れに関する重要事項

血液事業本部では、国の基本方針及び献血推進計画に基づき、日本赤十字社として、これら方針及び計画に沿った献血の受入れに関する重要事項について、計画しています。

各ブロック別血液確保量等一覧（平成27年4～12月）

単位：L

ブロック	都道府県	血液確保量				血液使用量				献血量-使用量	
		受入計画量 A	献血量 B	B-A	計画 達成率 B/A	供給量	原料血漿 送付量	計 C	血液 使用率 C/B	未使用 量 D=B-C	未使用 率 D/B
北海道	北海道	79,698	77,833	△ 1,865	97.7%	41,057	30,888				
	ブロック計	79,698	77,833	△ 1,865	97.7%	41,057	30,888	71,945	92.4%	5,888	7.6%
東北	青森	14,691	14,181	△ 510	96.5%	8,420	49,856				
	岩手	14,122	13,070	△ 1,052	92.6%	6,138					
	宮城	26,321	26,184	△ 137	99.5%	11,347					
	秋田	13,643	12,471	△ 1,172	91.4%	5,519					
	山形	12,327	11,155	△ 1,172	90.5%	5,185					
	福島	22,734	23,858	1,124	104.9%	11,307					
	ブロック計	103,837	100,919	△ 2,918	97.2%	47,916					
関東 甲信越	茨城	30,373	29,737	△ 636	97.9%	12,835	255,050				
	栃木	22,745	21,877	△ 868	96.2%	10,479					
	群馬	24,269	23,496	△ 773	96.8%	12,046					
	埼玉	71,729	65,529	△ 6,200	91.4%	31,932					
	千葉	68,490	63,553	△ 4,937	92.8%	33,503					
	東京	173,552	167,900	△ 5,652	96.7%	88,160					
	神奈川	94,884	88,324	△ 6,560	93.1%	44,325					
	新潟	26,503	26,637	134	100.5%	11,655					
	山梨	10,012	10,414	402	104.0%	3,838					
	長野	22,843	22,278	△ 565	97.5%	9,897					
ブロック計	545,398	519,745	△ 25,653	95.3%	258,670	255,050	513,720	98.8%	6,026	1.2%	
東海 北陸	富山	11,558	11,530	△ 28	99.8%	4,995	93,632				
	石川	13,511	13,102	△ 409	97.0%	6,182					
	福井	10,073	9,169	△ 904	91.0%	4,462					
	岐阜	21,815	21,161	△ 654	97.0%	10,566					
	静岡	39,620	37,295	△ 2,325	94.1%	17,881					
	愛知	82,995	81,640	△ 1,355	98.4%	36,020					
	三重	18,050	16,385	△ 1,665	90.8%	7,188					
ブロック計	197,622	190,282	△ 7,340	96.3%	87,294	93,632	180,926	95.1%	9,356	4.9%	
近畿	滋賀	14,240	13,972	△ 268	98.1%	6,892	110,024				
	京都	33,541	32,942	△ 599	98.2%	17,408					
	大阪	114,291	116,160	1,869	101.6%	60,615					
	兵庫	63,023	62,498	△ 525	99.2%	27,780					
	奈良	15,522	14,222	△ 1,300	91.6%	8,616					
	和歌山	13,197	12,657	△ 540	95.9%	5,914					
ブロック計	253,813	252,451	△ 1,362	99.5%	127,226	110,024	237,250	94.0%	15,201	6.0%	
中四国	鳥取	6,799	6,944	145	102.1%	3,286	60,190				
	島根	6,692	6,706	15	100.2%	3,058					
	岡山	24,912	23,441	△ 1,471	94.1%	12,498					
	広島	37,198	37,964	766	102.1%	17,785					
	山口	16,928	15,241	△ 1,687	90.0%	7,883					
	徳島	8,629	8,980	351	104.1%	4,072					
	香川	11,010	11,101	91	100.8%	5,557					
	愛媛	14,852	15,100	249	101.7%	7,929					
	高知	9,389	9,288	△ 101	98.9%	4,572					
ブロック計	136,408	134,765	△ 1,643	98.8%	66,640	60,190	126,830	94.1%	7,935	5.9%	
九州	福岡	62,386	61,392	△ 994	98.4%	29,391	78,940				
	佐賀	10,064	9,740	△ 324	96.8%	3,682					
	長崎	18,015	17,353	△ 662	96.3%	8,241					
	熊本	21,872	22,668	797	103.6%	11,481					
	大分	15,224	13,883	△ 1,341	91.2%	7,497					
	宮崎	14,165	13,123	△ 1,042	92.6%	6,724					
	鹿児島	19,435	17,802	△ 1,633	91.6%	9,400					
	沖縄	17,720	16,799	△ 921	94.8%	9,111					
ブロック計	178,880	172,760	△ 6,120	96.6%	85,527	78,940	164,467	95.2%	8,293	4.8%	
合計		1,495,655	1,448,755	△ 46,900	96.9%	714,330	678,580	1,392,910	96.1%	55,845	3.9%

※受入計画量は、平成27年度受入計画を3/4したもの。

平成27年4～12月各都道府県別献血者数一覧

単位:人

No.	都道府県名	献血者数					年代別献血者数						
		血小板献血	血漿献血	400mL献血	200mL献血	合計	16-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	合計
1	北海道	30,217	6,949	148,664	10,309	196,139	11,673	31,212	34,843	51,593	44,608	22,210	196,139
2	青森県	6,813	1,974	25,935	1,976	36,698	2,928	5,846	7,137	10,049	7,872	2,866	36,698
3	岩手県	5,688	2,591	23,443	2,204	33,926	2,330	5,718	6,692	8,571	7,577	3,038	33,926
4	宮城県	12,496	12,599	39,330	1,279	65,704	4,573	13,489	13,294	17,696	12,841	3,811	65,704
5	秋田県	6,318	2,316	22,039	2,021	32,694	2,045	6,119	7,117	8,527	6,744	2,142	32,694
6	山形県	3,499	3,639	20,354	712	28,204	1,661	4,948	5,922	7,495	6,183	1,995	28,204
7	福島県	10,176	3,665	43,985	2,765	60,591	2,569	9,194	12,082	16,915	14,650	5,181	60,591
8	茨城県	10,992	9,504	49,382	6,579	76,457	5,580	10,939	13,788	21,717	17,066	7,367	76,457
9	栃木県	8,745	8,084	34,355	6,104	57,288	6,075	8,903	11,409	16,238	11,018	3,645	57,288
10	群馬県	10,751	6,126	40,229	3,593	60,699	4,800	9,256	11,705	18,349	12,421	4,168	60,699
11	埼玉県	19,011	30,282	103,950	23,028	176,271	13,328	28,421	32,395	51,914	36,055	14,158	176,271
12	千葉県	21,962	26,212	106,041	11,133	165,348	11,862	27,862	30,318	47,617	33,822	13,867	165,348
13	東京都	78,243	58,892	265,414	19,336	421,885	22,839	94,326	87,929	115,505	77,651	23,635	421,885
14	神奈川県	33,666	32,539	146,468	9,348	222,021	10,852	33,343	40,211	69,253	50,145	18,217	222,021
15	新潟県	12,496	11,499	39,267	4,068	67,330	3,608	12,338	13,515	18,650	14,602	4,617	67,330
16	富山県	5,988	2,745	18,806	1,693	29,232	1,266	4,788	6,018	9,016	5,999	2,145	29,232
17	石川県	7,865	3,500	20,231	1,580	33,176	1,572	5,308	6,253	10,155	7,177	2,711	33,176
18	福井県	5,184	215	16,847	1,477	23,723	1,004	3,501	4,325	6,699	5,820	2,374	23,723
19	山梨県	0	6,803	16,447	1,769	25,019	2,824	3,667	4,302	7,027	5,368	1,831	25,019
20	長野県	9,451	9,383	34,960	2,544	56,338	1,962	8,588	10,942	17,444	12,908	4,494	56,338
21	岐阜県	7,375	7,633	35,132	3,408	53,548	2,680	7,206	9,702	15,798	12,928	5,234	53,548
22	静岡県	13,735	14,076	62,684	4,654	95,149	5,567	13,278	19,020	29,167	20,855	7,262	95,149
23	愛知県	30,759	39,634	129,446	7,415	207,254	9,038	37,886	42,421	62,536	41,578	13,795	207,254
24	三重県	6,421	7,862	25,746	105	40,134	982	5,163	7,818	13,617	9,767	2,787	40,134
25	滋賀県	4,681	2,652	26,785	664	34,782	1,234	5,140	6,714	10,587	7,722	3,385	34,782
26	京都府	12,264	8,797	59,057	990	81,108	3,755	14,815	13,926	21,752	18,090	8,770	81,108
27	大阪府	51,077	31,213	197,540	10,709	290,539	12,487	47,966	51,356	87,924	63,909	26,897	290,539
28	兵庫県	23,651	16,893	110,339	6,929	157,812	8,010	25,180	29,274	45,964	34,079	15,305	157,812
29	奈良県	6,524	3,789	24,033	1,440	35,786	1,525	5,400	6,502	10,403	8,264	3,692	35,786
30	和歌山県	4,193	2,545	24,064	1,261	32,063	1,974	4,356	5,529	9,202	7,667	3,335	32,063
31	鳥取県	3,591	481	13,140	105	17,317	696	2,897	3,950	5,015	3,652	1,107	17,317
32	島根県	3,911	717	12,136	35	16,799	652	2,496	3,367	5,022	3,947	1,315	16,799
33	岡山県	10,730	4,185	42,482	1,633	59,030	3,553	9,991	11,073	16,919	12,596	4,898	59,030
34	広島県	24,063	9,785	57,615	1,837	93,300	4,249	15,570	18,021	28,541	19,495	7,424	93,300
35	山口県	4,561	2,290	31,037	441	38,329	1,498	4,949	7,134	11,286	9,314	4,148	38,329
36	徳島県	4,390	1,133	16,539	36	22,098	812	3,591	4,731	6,358	4,750	1,856	22,098
37	香川県	4,025	2,471	21,177	117	27,790	1,306	3,992	5,592	8,207	6,104	2,589	27,790
38	愛媛県	5,212	2,586	29,801	41	37,640	1,965	5,898	7,447	10,649	8,493	3,188	37,640
39	高知県	4,455	1,009	16,934	781	23,179	1,300	3,976	4,666	6,403	4,909	1,925	23,179
40	福岡県	22,828	15,267	113,390	6	151,491	8,152	24,749	29,851	42,627	31,623	14,489	151,491
41	佐賀県	4,149	4,277	15,566	103	24,095	854	3,754	4,929	6,730	5,597	2,231	24,095
42	長崎県	6,516	4,373	32,220	591	43,700	2,032	6,940	8,885	12,350	9,827	3,666	43,700
43	熊本県	7,842	5,263	41,889	789	55,783	3,318	8,650	10,791	14,754	13,105	5,165	55,783
44	大分県	5,028	2,935	26,482	575	35,020	1,546	5,122	7,454	10,402	7,698	2,798	35,020
45	宮崎県	6,198	890	25,650	273	33,011	1,724	5,063	6,682	8,896	7,534	3,112	33,011
46	鹿児島県	7,296	794	36,318	769	45,177	2,234	7,175	9,522	12,508	9,865	3,873	45,177
47	沖縄県	6,256	3,180	32,375	411	42,222	2,279	7,560	10,773	12,128	7,658	1,824	42,222
	計	591,292	436,247	2,475,724	159,636	3,662,899	200,773	616,529	707,327	1,056,175	781,553	300,542	3,662,899

赤血球製剤在庫状況一覧(センター別)

(別紙2-1)

2016/02/12 05:52

センター名	血液型	赤血球製剤(照射血倉)				センター名	血液型	赤血球製剤(照射血倉)				センター名	血液型	赤血球製剤(照射血倉)			
		適正在庫数	実在庫数	差	保有率			適正在庫数	実在庫数	差	保有率			適正在庫数	実在庫数	差	保有率
北海道	A	1,580	1,761	181	111%	富山	A	200	238	38	119%	滋賀	A	230	274	44	119%
	O	1,370	1,798	428	131%		O	170	185	15	109%		O	190	222	32	117%
	B	1,000	1,514	514	151%		B	110	165	55	150%		B	120	145	25	121%
	AB	550	890	340	162%		AB	50	66	16	132%		AB	60	70	10	117%
	合計	4,500	5,963	1,463	133%		合計	530	654	124	123%		合計	600	711	111	119%
青森	A	270	341	71	126%	石川	A	210	461	251	220%	京都	A	580	543	-37	94%
	O	280	412	132	147%		O	200	493	293	247%		O	460	461	1	100%
	B	195	282	87	145%		B	130	303	173	233%		B	310	333	23	107%
	AB	75	106	31	141%		AB	60	145	85	242%		AB	150	154	4	103%
	合計	820	1,141	321	139%		合計	600	1,402	802	234%		合計	1,500	1,491	-9	99%
岩手	A	220	271	51	123%	福井	A	190	223	33	117%	大阪	A	1,880	2,616	736	139%
	O	220	252	32	115%		O	150	214	64	143%		O	1,470	2,298	828	156%
	B	150	199	49	133%		B	100	150	50	150%		B	980	1,536	556	157%
	AB	60	70	10	117%		AB	50	79	29	158%		AB	570	697	127	122%
	合計	650	792	142	122%		合計	490	666	176	136%		合計	4,900	7,147	2,247	146%
宮城	A	370	655	285	177%	岐阜	A	440	636	196	145%	兵庫	A	1,070	1,381	311	129%
	O	350	740	390	211%		O	340	469	129	138%		O	800	1,037	237	130%
	B	230	687	457	299%		B	230	342	112	149%		B	550	770	220	140%
	AB	90	217	127	241%		AB	110	178	68	162%		AB	280	397	117	142%
	合計	1,040	2,299	1,259	221%		合計	1,120	1,625	505	145%		合計	2,700	3,585	885	133%
秋田	A	210	195	-15	93%	静岡	A	670	784	114	117%	奈良	A	290	309	19	107%
	O	200	287	87	144%		O	570	689	119	121%		O	200	221	21	111%
	B	130	149	19	115%		B	380	551	171	145%		B	140	150	10	107%
	AB	70	97	27	139%		AB	180	270	90	150%		AB	70	82	12	117%
	合計	610	728	118	119%		合計	1,800	2,294	494	127%		合計	700	762	62	109%
山形	A	210	253	43	120%	愛知	A	1,270	2,048	778	161%	和歌山	A	220	253	33	115%
	O	180	187	7	104%		O	1,010	1,441	431	143%		O	180	226	46	126%
	B	130	175	45	135%		B	700	1,127	427	161%		B	130	150	20	115%
	AB	70	90	20	129%		AB	320	623	303	195%		AB	70	84	14	120%
	合計	590	705	115	119%		合計	3,300	5,239	1,939	159%		合計	600	713	113	119%
福島	A	440	461	21	105%	三重	A	280	352	72	126%	福岡	A	4,270	5,376	1,106	126%
	O	340	416	76	122%		O	220	300	80	136%		O	3,300	4,465	1,165	135%
	B	240	282	42	118%		B	150	226	76	151%		B	2,230	3,084	854	138%
	AB	110	143	33	130%		AB	70	102	32	146%		AB	1,200	1,484	284	124%
	合計	1,130	1,302	172	115%		合計	700	980	280	140%		ブロック計	11,000	14,409	3,409	131%
A	1,720	2,176	456	127%	A	3,240	4,742	1,502	146%	A	1,140	1,272	132	112%			
O	1,570	2,294	724	146%	O	2,660	3,791	1,131	143%	O	840	1,439	599	171%			
B	1,075	1,774	699	165%	B	1,800	2,864	1,064	159%	B	560	715	155	128%			
AB	475	723	248	152%	AB	840	1,463	623	174%	AB	270	367	97	136%			
ブロック計	4,840	6,967	2,127	144%	ブロック計	8,540	12,860	4,320	151%	合計	2,810	3,793	983	135%			
茨城	A	445	451	6	101%	鳥取	A	140	182	42	130%	佐賀	A	170	213	43	125%
	O	375	374	-1	100%		O	100	132	32	132%		O	120	170	50	142%
	B	265	238	-27	90%		B	60	72	12	120%		B	80	90	10	113%
	AB	115	157	42	137%		AB	30	66	36	220%		AB	60	84	24	140%
	合計	1,200	1,220	20	102%		合計	330	452	122	137%		合計	430	557	127	130%
栃木	A	350	403	53	115%	島根	A	130	186	56	143%	長崎	A	260	332	72	128%
	O	270	276	6	102%		O	100	142	42	142%		O	190	268	78	141%
	B	180	216	36	120%		B	60	70	10	117%		B	140	159	19	114%
	AB	90	109	19	121%		AB	30	56	26	187%		AB	80	122	42	153%
	合計	890	1,004	114	113%		合計	320	454	134	142%		合計	670	881	211	131%
群馬	A	360	403	43	112%	岡山	A	460	607	147	132%	熊本	A	440	539	99	123%
	O	300	326	26	109%		O	340	444	104	131%		O	330	377	47	114%
	B	220	270	50	123%		B	230	277	47	120%		B	230	228	-2	99%
	AB	120	184	64	153%		AB	120	179	59	149%		AB	120	147	27	123%
	合計	1,000	1,183	183	118%		合計	1,150	1,507	357	131%		合計	1,120	1,291	171	115%
埼玉	A	1,100	1,052	-48	96%	広島	A	620	1,093	473	176%	大分	A	250	276	26	110%
	O	900	1,007	107	112%		O	460	768	308	167%		O	190	239	49	126%
	B	600	672	72	112%		B	310	372	62	120%		B	130	153	23	118%
	AB	300	413	113	138%		AB	160	293	133	183%		AB	70	89	19	127%
	合計	2,900	3,144	244	108%		合計	1,550	2,526	976	163%		合計	640	757	117	118%
千葉	A	930	1,005	75	108%	山口	A	360	516	156	143%	宮崎	A	265	336	71	127%
	O	830	892	62	107%		O	270	307	37	114%		O	205	300	95	146%
	B	570	606	36	106%		B	180	207	27	115%		B	145	186	41	128%
	AB	270	307	37	114%		AB	100	141	41	141%		AB	75	114	39	152%
	合計	2,600	2,810	210	108%		合計	910	1,171	261	129%		合計	690	936	246	136%
東京	A	2,100	2,659	559	127%	徳島	A	170	211	41	124%	鹿児島	A	380	414	34	109%
	O	2,000	2,378	378	119%		O	120	129	9	108%		O	290	412	122	142%
	B	1,500	1,739	239	116%		B	80	88	8	110%		B	190	218	28	115%
	AB	700	1,100	400	157%		AB	50	70	20	140%		AB	100	126	26	126%
	合計	6,800	7,876	1,076	116%		合計	420	498	78	119%		合計	960	1,170	210	122%
神奈川	A	1,360	1,491	131	110%	香川	A	230	270	40	117%	沖縄	A	260	361	101	139%
	O	1,120	1,387	267	124%		O	160	185	25	116%		O	230	306	76	133%
	B	760	674	-86	89%		B	110	106	-4	96%		B	140	178	38	127%
	AB	360	379	19	105%		AB	60	77	17	128%		AB	70	85	15	121%
	合計	3,600	3,931	331	109%		合計	560	638	78	114%		合計	700	930	230	133%
新潟	A	420	500	80	119%	愛媛	A	330	400	70	121%	全国	A	3,165	3,743	578	118%
	O	350	422	72	121%		O	220	282	62	128%		O	2,395	3,511	1,116	147%
	B	280	334	54	119%		B	160	180	20	113%		B	1,615	1,927	312	119%
	AB	150	204	54	136%		AB	100	130	30	130%		AB	845	1,134	289	134%
	合計	1,200	1,460	260	122%		合計	810	992	182	122%		ブロック計	8,020	10,315	2,295	129%
山梨	A	130	168	38	129%	高知	A	190	229	39	121%	全国血液型別	北海道	4,500	5,963	1,463	133%
	O	100	139	39	139%		O	130	161	31	124%		東北	4,840	6,967	2,127	144%
	B	60	121	61	202%		B	90	93	3	103%		関東甲信越	21,500	24,342	2,842	113%
	AB	30	70	40	233%		AB	50	70	20	140%		東海北陸	8,540	12,860	4,320	151%
	合計	320	498	178	156%		合計	460	553	93	1						

供給動向と供給見込み



年度別赤血球在庫の推移 (全国集計)

(別紙4)

